

自室を美しくしたい

過去に付すざつたこと

これからが大切

でもふりかえつてみる

平安時代の源氏物語 序と

優美で ちよつといいろ と思つていろ

まさしく ちよつとでさうさうと しれたら

各地の日々がす木をた

それを守活だつて

と ちよつとに ~~身~~ 木ありある

その案の中の感覚をとり入れてみるの 概は

現在に返る

物をよくたしても たい そこにふくだけ

でよい

と ちよつとに 不ゆは 概能的にいふべき

美しく見える木

ふきかたは 人柄を みるわすことには 概は

自室にたいたい ちよつと ちよつと

その 概は 概は ちよつと

手紙入れ 概は 何回もふりかえつて

なかく 二れはいいし にあうあひ

こん存時 工しかこしと存 平安時代の強代

物が長り を思い出しつて

時をたがうのは 正つあしい

そうは りが存しニとあう

何回も おまかえあう

あは入つて美しさにあつて 行くのを

期待していい

大胆さとして 織せんさいさの心をあう

勉強かつていい

2023
4/16